【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成20年4月17日(2008.4.17)

【公開番号】特開2006-300579(P2006-300579A)
【公開日】平成18年11月2日(2006.11.2)
【年通号数】公開・登録公報2006-043
【出願番号】特願2005-119273(P2005-119273)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｇ　23/01　(2006.01)
Ｇ０１Ｇ　21/23　(2006.01)
Ｇ０１Ｇ　21/24　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｇ　23/01　Ｃ
Ｇ０１Ｇ　21/23
Ｇ０１Ｇ　21/24　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成20年1月25日(2008.1.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
一方の端部を荷重点側端部、もう一方の端部を支点側端部とする両端部を有し、両端部の間に感歪部を有して成るロードセルと、前記ロードセルの荷重点側端部上面に固定するためのロードセル取付部を有する荷重伝達部材と、前記荷重伝達部材に支持され、被計量物を載置するカバー部材とを備え、前記カバー部材に掛かる荷重を荷重伝達部材を介してロードセルに伝達する荷重伝達機構において、
前記荷重伝達部材は、
前記ロードセル取付部をコの字型に囲むリブ及び外枠と、
ロードセル取付部をコの字型に囲むリブと外枠とを接続する、ロードセル取付部をコの字型に囲むリブから放射状に伸びる複数の接続用リブと、
前記荷重伝達部材上面の内、少なくともロードセル取付部直上面を前記カバー部材に非接触の状態に保つ、ロードセル取付部直上面と前記複数の接続用リブの一部とを含むｍ×ｎの寸法で示される範囲を凹形状に形成した凹面部と、
前記複数の接続用リブを繋ぐ補強リブとを備えて成り、
前記寸法ｍ及びｎは、荷重によるカバー部材の撓み量に従って設定されるものであり、カバーの撓み量が多ければｍ及びｎの寸法を小さく設定して凹面部の範囲を狭め、撓み量が少なければｍ及びｎの寸法を大きく設定して凹面部の範囲を広げるように設定されるものであることを特徴とする荷重伝達機構。